

2015（平成27）年度

事業報告書

社会福祉法人 慈愛園

ひかり幼児園

2015（平成 27）年度 事業報告書

1. 施設名 ひかり幼稚園
2. 種別 保育所
3. 定員 90人
4. 園長名 新美美穂
5. 職員 23人（常勤12人 非常勤10人 パート1人）
（園長 保育士 栄養士 調理師 看護師 事務 ）
6. 園児在籍数 入園24人 退園7人（転園2、家庭復帰5）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	5	5	7	7	7	7	8	9	11	11	11
1歳児	16	16	17	15	15	15	16	15	15	15	14	14
2歳児	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17
3歳児	17	18	18	18	18	19	19	18	18	18	18	18
4歳児	16	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17
5歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
合計	88	89	90	91	90	91	92	91	92	94	93	93

子ども子育て支援新制度により、保育必要量に応じて、標準時間認定（保育時間 11 時間）と短時間認定（同 8 時間）がある。短時間認定された園児は、上記の内 9 人（途中標準時間認定に変更した園児もいる）である。

7. 事業内容

キリスト教精神に基づく理念“謙遜・献身・愛”にたち、すべての子と子育て家庭を支援する<生活と教育の場>として地域にある保育園としての役割を果たしてきた。保育所保育指針や子どもの育ちに裏付けられた保育実践：『ていねいな保育』で、子ども及び保護者や地域に信頼される場となるよう努力してきた。

（1）保育の必要な乳幼児の保育

今年度は、ひとり親世帯特に、DVで緊急入園した家庭について関係機関と連携をとり、保護者と心の通い合いと園児の安定的な園生活を支えることに注意を払った。連日の猛暑、台風や大雪など厳しい気象条件の中、園児も職員も元気で安定した生活が送れるように配慮した。

一時預かり事業（熊本市委託事業）実績：利用延べ人数 1598 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	12	16	11	10	7	8	49	97	53	58	59	74
1歳児	27	45	66	62	41	70	75	35	63	62	74	55
2歳児	19	33	31	32	31	42	49	34	40	32	36	31
3歳児	0	0	0	0	0	0	0	11	12	9	12	15
合計	58	94	108	104	79	120	173	177	168	161	181	175

一時預かりは、今年度独立させ、2階保育室にてちゅうりっぷ組として2人の保育士を担当者として運営した。このことにより、より家庭的な雰囲気の中、利用者のニーズにあわせて受け入

れることが可能になり、利用延べ人数は倍増した。保育者は子どもの育ちを総合的に見る目が養われ、利用園児が慣れてくると、2歳児が小さい子を労わったり、小さい子が大きい子の見よう見まねで良い生活習慣が身に着いたりした。2階にすることで、園全体から孤立することのないよう意識して保育を行い、2階からの避難訓練のノウハウも蓄積された。

(2) キリスト教保育

折にふれ、その子のよさを見つけて話しかけたり、気をつけて欲しいことややめて欲しいことはわかりやすい言葉で話すことに努めた。

合同礼拝のメッセージは、身近な話題や聖書の話をつわりやすく伝え、子どもだけでなく保育者にもみことばの種蒔きをするつもりで話した。誕生会で披露された紙芝居（保育士の手作りでマグネットシアターとしても演じられる）は、子ども達もよく知る聖書の話で、繰り返し使っていきたい。

10月にはフィンランドからビルピ・ソベリ宣教師が来熊、サロ先生（ひかり幼稚園第3代園長、フィンランド出身）のこともあり、ひかり幼稚園を案内し、ソベリ宣教師からサロ先生のお人柄などを聞くことができた。

11月大江教会にはパイプオルガンが入ったため、その組立作業を見学、完成後にコンサートも聞くことができた。また3月には十字架と復活の出来事を人形で表した聖書人形展も見た。見たり聞いたりすることで感受性も豊かになり、子どもならではの発言を聞くことができた。

山の上団地住人や慈愛園デイサービスセンターを利用している高齢者との交流はこれからも続けていきたい。いつも同じ職員が対応するのではなく、機会があれば誰もがそのネットワークの中で気軽に声をかけられるようになりたい。

(3) 保育内容

画一的な製作物や、管理的な遊びの支配をしないように、保育者は子どもの育ちや各々の思いを理解し、柔軟な姿勢で子どもに相對することを求めてきた。保育の質の向上という点で核となる考えではあるが、日々の保育を行う保育者にとって、具体的にどのような教材やあそびを準備して整えたらいいのか、そしてそれを『ひかり幼稚園のスタンダード』として確立していくことは、これからの課題である。生活に関するルーティーンワーク（例えば、登園後の身支度、食事の前後の手順、降園のための身支度など）は、基本的なことは統一し、担任によって変えられることのないような手順を相談して決めたところである。

『保育の見える化』と題して、行事の時だけでなく、遊びの様子、食事の様子など文章でわかりにくい事柄を写真と短いコメントで掲示した。この手法は保護者に喜ばれたが、保育者もそのレイアウトを工夫したり、何をねらいとして行い、どういう結果になったのかを考察し次の保育に活かすことができた。

(4) 健康管理・衛生管理

手洗い・うがいや予防接種を重点的に啓発した。（ポスター掲示や声掛け）

室内や園庭の清潔（掃除の徹底）、砂場消毒の管理を行った。

PM2.5や光化学スモッグなどの注意報発令に注意し、測定値が高い時には、外遊びを控えるなどの対応を行った。

食物アレルギーを持つ子どもの情報は全職員が理解し、細心の注意を払った。

熱中症対策キット及び経口補水液を購入した。

与薬依頼書の様式を変更し、薬の内容把握や受付時の対応がスムーズで確実にできるようにした。

主な感染症	インフルエンザ A 型 20 人 インフルエンザ B 型 2 人 エコーウイルスによる夏風邪 63 人 溶連菌感染症 11 人 手足口病 14 人 感染性胃腸炎 8 人
内科健診	4・10 月（欠席者は後日受診）全員異常なし 家庭へ通知
歯科健診	6・3 月 結果を家庭へ通知 4・5 歳児：食後の歯磨きとフッ素洗口
蟻虫検査	6 月 有卵者なし
身体測定	毎月末に結果をこひつじノートや連絡帳に記入
その他	職員：年 1 回健康診断 定期的に腸内細菌検査 調理関係者：毎月腸内細菌検査 ノロウイルス検査

（５）安全管理・危機管理

毎月の避難訓練は、一時預かり保育の子どもが常時いることから 2 階からの避難誘導や補助について、全職員が意識を高めて訓練に参加した。また園長不在の場合の避難も行った。熊本学園大学へ全員で避難訓練した際の反省をもとに、おんぶひもの寄付をお願いし、全職員が確実におんぶひもを扱えるように練習したり、避難車もあと 1 台購入した。

プール時の準備から後始末までのマニュアルを作成した。

8 月の台風 15 号で重油タンク屋根の波板飛散や倒木の被害を受けた際、通過前の対応や通過後のシミュレーションが不十分であった。また、職員間の伝達にも時間がかかり、検討を必要とした。

1 月の積雪と凍結被害についても、凍結防止対策を学んだ。

駐車場についても、右折待ちで後続車が渋滞することもあるし、歩行者の進路を妨げる強引な入出庫について、保護者に向けての安全指導も行った。

（６）食育・給食

おやつメニューとして、週 1 回曜日を決めて「おにぎりの日」、「蒸しパンの日」とした。おなかにたまるおやつでもあり、具の工夫でバラエティーに富んだ楽しみの日となった。

非常事態を想定したクッキング体験として、カレーとご飯を薪で調理し、広告紙で折った皿に入れて食べる体験を山の上団地の方と一緒にいった。また、3 月 11 日には全職員が体験できるよう、各クラスでさば缶井をビニール袋で作し、全園児が食した。食育・地域交流・危機管理の意味からも大人にとっても有意義な時間となった。また、非常食体験を日常的なこととして、乾パンなど備蓄した食材を食したり、紙コップに注ぎ分け、それで飲む経験もさせた。

誕生会のメニュー（写真）掲示は、保護者からも喜ばれた。掲示場所でしばらく親子の会話が聞こえた。

畑を使った栽培（玉葱、トマトやきゅうり等）は子ども達が野菜や土に親しみ、収穫の喜びを味わった。

県産木を使って、箸づくりをした。サンドペーパーの作業は園児一人では難しいので、食育ネットワークのメンバーや保護者有志の協力のもとに行うことができた。作業の合間や、おやつの際に箸の使い方など初対面の方とも親しく話をしており、楽しい時間となった。

食中毒等で給食提供できない時のことを想定して、弁当の業者を検討、試食してみた。

食育活動一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動		玉葱収穫	夏野菜植え	サラダバイキング アルファ米の試食	とうもろこし皮むき	非常食体験 (カレーライス)
郷土料理	かるかん (鹿児島県)	けいらん (佐賀県)	雨降りだご (熊本県)	チキン南蛮 (宮崎県)	ちんぴん (沖縄県)	魚ロック (佐賀県)
食育だよりのテーマ	保育所給食とは	朝ご飯は何故大事?	噛むことの大切さ	子どもの食物アレルギー	夏バテしない食事の工夫	快便のススメ
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動	祖父母ふれあいおやつ	ゆり組クッキング そら豆植え	クリスマスランチバイキング			非常食体験 お別れパーティー会食 リクエスト給食
郷土料理	ちゃんぽん (長崎県)	いきなり団子 (熊本県)	とり天 (大分県)	筑前煮 (福岡県)	ふくれがし (鹿児島県)	人参しりしり (沖縄県)
食育だよりのテーマ	おやつの適量はこれくらい	手づかみ食べと離乳食	具合が悪い時の食事	七草粥のいわれ	忙しい日の夕食の工夫	健康な体は5つの定点から

(7) 保護者支援

それぞれの家庭の事情にあわせて、気持ちを思いやり、適切な助言をするのは大変難しいことであるが、園長が直接相談を受け、担任を支え仲立ちとなって支援している。ひとり親、生活困窮、求職相談、母親の体調不良時の保育や非正規職員として働きながらの子育てや妊娠等課題はたくさんあった。また、校区担当保健師や児童相談所との連携を密にし、気づきや課題は担当部署をこえて課題解決に向かうよう要請している。相談スペースを工夫し、相談にのれるカウンセリングマインドや援助技術を身につけたい。

(8) 地域・関係機関との連携

●地域との連携

大江校区子育てネットワークの会で、地域の現状や課題を共有した。

大江1町内粋・生サロンの参加交流（今年度は仙台七夕飾りを一緒に作ったり、2歳児も交流に出かけた）非常食体験へのお誘い、クリスマスへのお誘いなど、地域高齢者と年間を通じた交流を行った。

夏まつりで仙台風七夕飾りを作ったり、石巻の保育所に絵本とカレンダーのクリスマスプレゼントや石巻周辺の特産品購入など、「東日本大震災を忘れない」交流も続けている。

●小学校との連携

校区内外の小学校・中学校の学校行事や交流会、連絡会に積極的に参加し、顔の見える関係をつくった。これまで園長、主任が参加していた連絡会も年長児担任も参加できるようにした。

1年生と年長児の交流会も回を重ねるごとに内容が充実してきて、ランドセルを背負わせてもらったり、トイレを使わせてもらうなど、より身近な経験ができるよう工夫されている。

●実習生の受け入れ

6月8~11日 6月29日~7月2日 8月31日~9月3日 10月19~22日	九州中央リハビリテーション学院看護科3年（小児看護学臨地実習） 合計11人
8月17~27日	福岡こども短期大学2年1人
8月31日~9月12日	熊本学園大学子ども家庭福祉学科2年（保育実習ⅠA） 2人
9月15~17日	熊本市立西原中学校2年（ナイストライ）2人 熊本市立白川中学校2年（ナイストライ）2人
2月22日~3月5日	熊本学園大学子ども家庭福祉学科3年（保育実習Ⅱ） 1人

保育士不足が話題であるが、園で子ども達とふれあっているうちに自分の子ども時代を思い出して、育てて下さった保護者や周りの人々に感謝する学生や、保育の仕事のやりがいを感じて大学に戻る学生の感想は、私たちにとっても励みになった。

8. 苦情解決

苦情解決体制

苦情解決責任者	新美美穂（ひかり幼稚園園長）
苦情解決受付担当者	大津美穂（ひかり幼稚園職員）
苦情解決第三者委員	神水幼稚園前園長 大江小学校児童育成クラブ指導員

12月と3月に委員会を開催して、園の状況及び苦情について報告、助言を求めた。今年度は主として次の苦情があった。

●近隣住人からの苦情（毛虫駆除のお知らせタイミング）

毛虫駆除のお知らせ文書に当日の朝気がついたが、数日前に予告して欲しいという苦情。（薬剤散布前に電話あり）

<対応>電話対応した職員がその場で急な日程になったことをお詫びし、園長出勤後すぐご自宅に伺ったが、不在だったのでお詫びの手紙をポストに投函した。

●保護者から職員の対応について苦情と相談

「特定の職員が自分に挨拶をしない。転園したい」と区役所保健子ども課（入所担当者）へ直接の苦情と転園の相談。

<対応>匿名だったので、わからずじまいだが、すぐに、文書で苦情（挨拶ができていないことへの指摘）を公表し、真摯に受け止め改善する旨を記した。

●匿名の通行者からの苦情

駐車場からバックで出発する際、歩道に人がいるにもかかわらず、強引に出ていく車がある。園からも指導して欲しい。

<対応>全家庭に駐車場利用に関する注意文書を配布した。また、特定のナンバーのお知らせがあったので、その方には直接注意を促す。

苦情解決第三者からは、「誠実に迅速に対応したのは良かったと思われる。」と評価。

9. 職員の資質向上

(1) 園長の責務

資質向上のために、園長による新任・初任者の園内研修、総合健康推進財団に依頼した主として非常勤職員を対象としたスキルアップ研修は、受講した職員が意欲をもって参加していた。一人ひとりの目標設定とこまめな面談はできていないが、機会をとらえて、助言などをしてきたつもりである。また、日本保育ソーシャルワーク学会に入会し、その情報提供をした。

働きやすい職場としての雰囲気作りに努め、誕生日休暇（誕生日前後）健康診断日の休暇等誰にでも等しく取得できるようにしている。職員みんなで食事に行く機会をこれまでも実行してきたが、年度末職員が相次いでインフルエンザにり患したことから、インフルエンザの予防接種補助なども福利厚生として有効ではないかと考えている。こうした取り組みは、どの施設でも行っているものであるが、3月熊本県より『人材確保優良社会福祉施設』として表彰を受けた。

園舎の建て替えを視野に入れて、保育の見直しや他園の視察を始めた。改めて、ひかり幼児園の建物が良質でよく考えられた使いやすい造りであることを実感した。「建築おしゃべり会」や折にふれての会話で夢を語り合ったのも、職員の結束を強めるものとなった。

(2) 研修実施記録（園内・園外）

職員は、以下の研修会に参加し、復命書を書いたり報告をして、共有化した。

月	対外研修	園内研修
4月	慈愛園新任職員研修会 22日	事業計画その他の共有 4日 聖書会 14日
5月	キ保設置者・園長研修会 11～12日 縣市合同女性部研修会 14日 運動会向けダンス講習会 15日 園長研修会 20日 市連保育研究大会 23日 子どもの食育推進ネットワーク地域研修会 26日 春期保育者研修会 30日	園内新任研修 15日 聖書会 26日 スキルアップ研修 29日
6月	運動会実技研修会 4日 市連看護師・保育士研修会 5日 食品を科学する分析講座 5日 熊本市保育所職員合同食品衛生研修会 10日 保育内容（記録）研修会 18日 市連部会連携研修（食品添加物）20日 市連中央ブロック保育士会研修 25日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会 30日	聖書会 9日 園内新任研修 18日 スキルアップ研修 26日

7月	市連リーダーセミナー8日 市連中央ブロック主任保育士研修会9日 市連中央ブロック給食部会研修会9日 慈愛園管理職員研修会10日 年長児保育担当者研修会17日 全国保育士会食育推進研修会30～31日 保育園連盟セミナーI31日	スキルアップ研修10日 聖書会14日 園内新任研修15日
8月	慈愛園管理職員研修会13日 ルーテル幼保研修会20～21日	園内新任研修11日 スキルアップ研修28日
9月	熊本市保育園連盟セミナーⅢ2日 市連看護師等研修会4日 キ保熊本地区秋季保育者研修会5日 市連中央ブロック給食部会研修会10日 健康保険・年金実務研修会14日 熊本市保育園連盟セミナーⅢ14日	聖書会8日 スキルアップ研修11日
10月	慈愛園管理職員研修5日 市連中央ブロック園長会視察研修14～15日 市連給食部会全体研修会15日 市連中央ブロック保育士研修22日 保育者セミナーⅡ29日	園内新任研修6日 スキルアップ研修16日
11月	市連女性部研修会5日 託麻原小学校訪問研修10日 市連中央ブロック主任保育士研修会12日 園長・主任研修会12日 市連中央ブロック給食部会研修12日 市連給食部会研修25日	園内新任研修2日 聖書会10日 スキルアップ研修13日 リーダーミーティング30日
12月	市連初任管理者研修4日 キ保熊本地区クリスマス5日 慈愛園管理職員研修7日 保育所職員合同研修会9日 保育推進連盟研修会12日 保育推進中央研修16～17日 食の安全セミナー17日 慈愛園施設長等研修会26日	スキルアップ研修4日 園内新任研修22日 リーダーミーティング24日
1月	部会連携研修会9日 市連中央ブロック給食部会研修会14日 保育士実践研修会（特別支援）15日 キリスト教保育連盟九州部会主任研修15～16日 市連女性部マナー研修会25日	スキルアップ研修8日 聖書会12日
2月	保育士実践研修（特別支援）5日 県福祉施設士会セミナー8日 社会福祉法人理事長研修会10日	スキルアップ研修5日 聖書会9日 リーダーミーティング15日

	上田事務所研修会 12 日 慈愛園モード・パウラス先生愛献の集い 13 日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会 16 日	
3 月	上田事務所キャリアパス研修 2 日 保育園連盟研修会 9 日 保育園連盟緊急セミナー 9 日 慈愛園管理職員研修会 23 日	

10. 施設整備

園舎建て替えの意向を理事長に打診、少しずつ準備を始めてきた。他園の視察をするなどの情報収集をし、3 月、熊本市には事前協議書を提出したところである。既存の建物は丁寧に使うこととし、点検と清掃をこまめにしている。

3 月にいちょうの木の強剪定を行った。

11. 活動報告

月	日	行 事	内 容
4 月	1	*建物点検日	*園内外を点検リストに従い点検報告を行う（毎月 1 日定例）
	2	新級・入園合同礼拝	進級入園を感謝し、クラスや職員の紹介をする
	4	入園式 重要事項説明	新入園児 12 人と保護者を迎える 新制度によって、重要事項を保護者に説明した（4 日と 6 日）
	15	*ロアッソサッカー教室	*さくら・ゆり組のサッカー教室（毎月第 3 水曜日定例）
	18	お見知り遠足 保護者会総会	熊本市動植物園にてお見知り遠足（現地集合・解散） 新旧の保護者会委員さんを紹介、総会を行う
	21	内科健診	園医による内科健診
	22	*誕生会	*みんなで誕生者を祝う（毎月定例）
	22	*避難訓練	*発火場所・時間を想定して訓練する（毎月第 4 火曜日定例）
	30	緊急避難訓練	不審者発見伝達訓練（職員）
5 月	18	フッ素洗口指導	保健子ども課の歯科衛生士による指導
	19	幼年消防クラブ結成式 避難訓練	中央消防署の指導による幼年消防クラブ結成式を行う 避難訓練の様子を見ていただき、職員は消火訓練をした
	25	チューバマンショー（コンサート）	重低音金管楽器演奏者の 2 人『チューバマンショー』のコンサート。愛光幼児園年長児と音楽を楽しむ
	29	プラネタリウム見学	ゆり組 16 人熊本博物館へ行く
6 月	1	花の日礼拝と訪問	警察学校などへ花束にカードを添えて訪問する。角本牧師も団地訪問に同行
	4	ぎょう虫検査	すみれ組以上児のぎょう虫検査
	5	歯科健診	園医による健診
	15・16	保育参観	各クラス保育参観
7 月	2	プール開き	事故のないようプールを囲んで礼拝する
	8	誕生会にさきもりころう君	鞠智城 P R キャラクターさきもりころう君が来園。一緒に誕生者を祝った

	17	山の上団地粋・生サロン参加	ゆり組 15 人山の上団地住人と仙台七夕飾りを作ったり、お手玉やあやとりをして交流
	24	夏まつり	『ひかりなつまつり 2015』と題して、夕方から 1 時間半のプログラム。保護者会会長の前座パフォーマンスが好評。「ハラハラドキドキのおへや」やボールゲーム、輪投げなどを楽しんだ。仙台七夕風の飾りも。保護者、大学生ボランティアあり。卒園児家庭、山の上団地住人も楽しんだ
8 月	3	もも組クラス懇談会	もも組保護者と担任が懇談する
	4	ふじ組クラス懇談会	ふじ組保護者と担任が懇談する
	31	プール終了の合同礼拝	事故もなく過ごせたことを感謝し、礼拝する
9 月	1	非常食体験地域交流会	ライフライン停止を想定して山の上団地住人とカレーライス（ご飯と具を別々に袋に入れて炊く）を作る
	2	緊急避難訓練	不審者発見伝達訓練（職員）
	3	保育参観・講演会	各クラス保育参観 講演会：『人を育てる人が知っておきたいエゴグラム』にいみひろこ氏
	11	箸づくり体験	食育ネットの協力を得て、県産木で箸を作る。自作の箸で一緒におやつ
10 月	3	運動会	園庭にてダンスや競技を楽しむ
	8	内科健診	園医による内科健診
	20	いもほり遠足	貸し切りバスで広安愛児園へ行き、芋掘りを楽しむ（ゆり・さくら・ふじ・もも組 67 人）
	27・28	お泊り保育	ゆり組 16 人雑草の森にて野外活動と宿泊を行う
11 月	2	祖父母ふれあいの日	園児祖父母を招き（36 人）、交流の後、茶話会を行う。おみやげのレターセット（年長児のイラストで作成）が喜ばれる
	2	げんきっずフェスティバル	ゆり組 12 人熊本学園大学げんきっずフェスティバルに参加し、コーナーやステージの出し物を楽しむ（午後）
	9	収穫感謝礼拝・幼児祝福礼拝	家庭より果物・野菜を持ち寄り、感謝の礼拝をする。また、角本牧師より祝福をしていただく
	10	収穫感謝訪問	果物や野菜にカードを添えて、近隣や警察学校等を訪問する
	21・28	さくら組個人懇談	保護者と担任が子どもの育ちなどについて個人懇談した
12 月	3	大江教会パイプオルガン見学	ゆり・さくら組 32 人ドイツ・ボッシュ社のパイプオルガンの組立作業を見学する
	9	クリスマス公開リハーサル	クリスマスリハーサルを公開し、当日来れない家族及び地域の方を招いた（38 人）
	12	クリスマス	クリスマスの礼拝と祝会を行う
	18	大江教会パイプオルガンコンサート見学	3 歳以上児 49 人組立完了したオルガンを吉田仁美先生（広島）に弾いていただき、その音色を楽しんだ
	18	山の上団地粋・生サロン	もも組（2 歳児）17 人が参加し、電車ごっこやうたなどを楽しむ。いつも大きい子どもたちばかりだったので、かえって喜ばれた
	22	焼きいも	園児祖父母からいただいたわらで焼きいもをする

	25	誕生会とクリスマスランチ	誕生会にサンタさん来園。クリスマスランチとしてバイキング会食をする
1月	9・16	ゆり組個人懇談	保護者と子どもの育ちや小学校のことを個人懇談する
	21	ロアッソサッカー教室公開	今回は保育参観としてサッカー教室の様子を公開した。1月で退団する横山コーチとのお別れ昼食会も行った
2月	9	創立記念礼拝	角本牧師と共に創立 68 周年の記念礼拝をまもる。創立から今日までの園舎や園庭遊具などを中心に写真を掲示した
	10	発表会公開リハーサル	発表会リハーサルを公開し、当日来れない家族が来園された
	13	発表会	子どもたちの歌や劇などの発表をみんなで楽しむ
	18	託麻原小学校交流会	ゆり組 16 人が託麻原小学校を訪問する
	22	神水教会礼拝	ゆり組 15 人は愛光幼児園年長児と共に、神水教会で礼拝をまもった後、交流を深める。また、慈愛園デイサービスとパウラス記念館も訪問する
	23	大江小学校交流会	ゆり組 16 人が大江小学校を訪問する
	23	内科健診再診	園医による内科健診（未受診者の健診）
	24	緊急避難訓練	不審者発見伝達訓練（職員）
3月	2	歯科健診再診	園庭による歯科健診（未受診者の健診）
	4	ゆり組遠足	ゆり組 15 人が御船町恐竜博物館を見学する
	8	さくら・ふじ組遠足	さくら・ふじ組人堂免公園へ遠足に行く
	9	ふじ組サッカー教室体験	ふじ組がコーチの指導でボール遊びとサッカー体験をする
	10	幼年消防クラブ修了式 避難訓練	ゆり組に中央消防署より幼年消防クラブ修了証書が手渡される。まとめとしての避難訓練の様子をみてもらう（職員の通報訓練）
	11	非常食体験	ライフライン停止を想定し各クラスで、一人分の食材をビニール袋に詰める準備をしてもらい、全員でさば缶弁（全て備蓄のもの）を食す
	18	お別れパーティー	ゆり組と退職者を囲んだ集会后、ふじ以上児バイキング形式で会食する
	22	新入園児説明会	2016 年 4 月入園児家庭へ重要事項説明と面接を行う
	25	大江教会聖書人形展見学	ゆり組 12 人大江教会で展示された聖書人形展を見学した
	26	保育証書授与式（卒園式）	ゆり組 16 人が卒園する